

東北地方を東西に分ける山脈の奥羽山脈は、日本最長の山脈です。

奥 ←下は「大」になっているよ。

東西で異なる気候

東北地方の気候は、奥羽山脈を境に、太平洋側と日本海側で気候環境が異なります。

夏の降水量が多い。
また、やませと呼ばれる寒流の千島海流の影響を受けた冷たい風が吹くと、冷夏になって米が不作になりやすい。
やませ = 冷害の原因

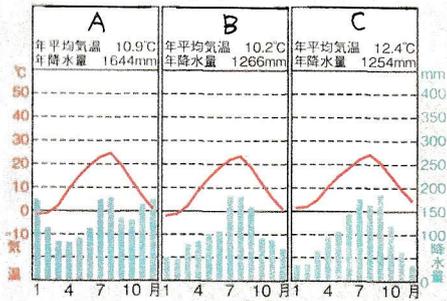
冬は奥羽山脈をこえて乾いた風が吹き、雪が少ない。

北西の季節風の影響で冬の降水量が多い。
冬の寒さが厳しいため、日本海側では雪が多くなる。

まとめ、
太平洋側 夏の降水量が多い、冬は乾燥して雪が少ない。
やませ(冷たい北東の風)が吹くと冷害になることが多い。

↓ (仙台、盛岡、横手のうち)

日本海側 北西の季節風の影響で冬に雪が多い。



A ... (横手) ... → 冬の降水量が多い。
B ... (盛岡) ... → 日本海側は雪が多い。
C ... (仙台) ... → 冬に降水量は多いけど、緯度が高いから気温が低い。
冬に乾燥していて、この3つの地域の中で一番気温が高い。

東北地方のおもな都市の雨温図 (理科年表平成27年、ほか)